

第42回中小企業問題全国研究集会

～中小企業の力で、地域復興と日本経済再生を～



(服部 一彌氏)

3月8日、9日、中小企業問題全国研究集会で福島に行ってきました。そうです。一年前に起きた東日本大震災、原発事故の現地です。中小企業家同友会としてどうしても福島でやるべきだったのでしょう。全国から1600名あまりが集いました。

これは結構な人数です。しかし、わが三重県は報告者の服部代表理事と座長の森川さん、成川事務局長を除けば、三井さん、門井さん、私の3名の参加と、全国ワーストワンの参加率かもしれません。

翌日、私と門井さんは、レンタカーを借りて郡山から津波の被災地をこの目で見てきました。絆を感じ必ず復興すると思った全研の盛り上がりから、いきなり現実を見せ付けられます。まずは仮設住宅エリアに向かいました。一時期の粗悪な住宅と違いなかなかの作りです。しかしこの重たい空気は何なのでしょう。被災され職を失い支給されるお金で暮らす人の動きは妙にスローに思えます。人間の弱さをまざまざと見せ付けられました。



私は今後この人たちは仕事に戻れるのか疑問に感じました。

そこを後にし津波の被害エリアいわき市四倉、久の浜に向かいました。途中で立ち寄った飯屋で流れていたTV放送や車中のラジオですが、三重県とは全く違います。搜索依頼、東電保障の説明が今も続けられていました。

久の浜に着くと、目の前太平洋、そして左手に破壊された漁船の山が無造作に積みまっています。少し車を走らせると、徐々に言葉を失っていきます。さすがに瓦礫はなくなりましたが、住宅があったエリアは鉄筋コンクリートを除き、基礎のコンクリートと水周りのタイルが残っているだけです。そしてところどころに家財道具が落ちています。今でも警察機動隊とかが乗る車とパトカーがいます。数名の警察官が小雨の中搜索しているのか、警備しているのかチームを組んで歩いています。あまりの景色に言葉無く写真だけを撮りました。

今福島は良しも悪しも原発と共にあります。実際のところ土木、建設などの仕事は多くあり働く事は可能です。働く心を失った人、家族も希望も失った人様々な人がいる中、中小企業家同友会のメンバーは企業を心の拠り所として企業活動を続けて行ってくれる組織だと改めて思いました。

(株)誠文社 西村 信博

《支部例会だより》

南勢支部 3月例会

『付加価値を生むのは

「創造力と信用力」

～勤めていたホテルを買って分かったこと～

報告者：佐野 貴信氏

(株) サノプランニング

代表取締役



(佐野 貴信氏)

最近、“人と人の繋がり”という言葉が、経営者の方々のお話の中に出てきます。その“人と人の繋がり”のなかで、自分が考えているビジョンの間に、思いがけない情報やビジネスチャンスが突然出現します。私は、

そのチャンスを生かすも殺すも、社長の判断次第であると考えています。今回報告をしていただいた(株)サノプランニング 代表取締役 佐野氏も、数年のうちにたまゆらグループを多店舗展開していったこと、そして以前勤めていたホテルを買収したことなど、“人と人の繋がり”から様々なビジネスチャンスを捕まれ、そのポジティブなすばやい判断により事業展開を成し遂げました。

例会の参加者にとって佐野氏のビジネス展開、そして行動の早さに驚かされていましたが、その決断の速さは今の経営者として大切なものだと感じました。そして市場変化の激しい今の時代は、今までの行動の遅いビジネス展開では、その変化について行くことができないのも現状なのだと気づかされました。

松下製材(有) 山口 浩典



(倉田 伸雄氏) 下津醤油(株) 下津 浩嗣

中勢支部3月例会

『わが社が百年継続できた理由』

～百年企業に学ぶ社内改革～

報告者：倉田 伸雄氏

(株) クラユニコーポレーション

代表取締役

株式会社クラユニコーポレーションは今年の2月に創業100周年を迎えられ、倉田伸雄社長は37年間経営に携わってこられました。三重同友会の設立直後から入会されており、社員教育や共同求人活動など同友会の活動を通じて学んだことを積極的に自社に取り入れ実践され続けたことが、確かな実績につながっていることが報告を聞いてよくわかりました。

今回一番印象深かったのが、1997年から作成している経営指針について、1泊社員研修や経営指針発表会で社長の思いを伝えるとの報告の中で、倉田社長が作成した会社の実績数値が入った初回と5年前に作成した実物の経営指針を公開していただいたことです。実際の数値を多くの人に公表するのは非常にハードルが高いと思うのですが、今回クラユニコーポレーションの生々しい経営指針は非常に参考になり、参加された皆さんにとっても経営指針作成の第1歩を踏み出すきっかけや次年度作成のヒントになったと思います。私も以前ある会員の方に見せていただいた経営指針が非常に参考になり、自社の経営指針作成のきっかけになりました。三重同友会では経営指針作成を薦め、セミナーも毎年開催されているものの参加数が少なく、必要性や重要性は感じながらもきっかけがなく作成に踏み出しきれない経営者が多いように思います。

また今回の例会は、経営指針作成のきっかけ作りという面でも非常に良い例会でありましたが、学んだことを着実に実行し実績を上げる、そしてその姿勢を常に忘れず謙虚に実践し続ける倉田社長の姿は、同じ経営者として見習うべき点が多く、学び多い同友会らしい例会だったと思います。

お知らせ

『第30回定時総会』

<開催要項>

日時 平成24年4月27日(金)

13:00~19:30

(受付:12:30~)

会場 ロワジュールホテル四日市

参加費 6,000円

(記念講演までの場合無料)

<タイムスケジュール>

12:30 受付

13:00 定時総会

14:30 記念講演

18:00 パーティー

※詳細は同封のチラシをご覧ください。
また、欠席の方の委任状の送付をお願いいたします。

～ 新事務局員紹介 ～

3月21日より、新たに事務局員として入局した廣田直己と申します。前職では、リース会社に勤務し代理店営業を行っておりました。30歳を前に地元に戻り本事務局に務めることになりました。



このような業種は初めてで、わからない事も多く、先輩方にご教示いただき日々勉強の毎日です。今後、会員の皆様にもご教示いただく機会もあると思っておりますが、皆様と学び合える関係を作り、頼りになる事務局員を目指していきたく思います。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

<プロフィール>

三重県三重郡菰野町生まれ

中京大学法学部法律学科 卒業

● 会員企業訪問日記

今回訪問させていただいたのは、桑名支部のインターナショナルトラベル オフィス株式会社です。企業の海外視察やドイツでの体験・研修プログラムからは



じまり、海外でのスポーツ観戦まで、個人から企業向けのありとあらゆる旅行の手配をしています。仕事はお客様にもらうだけ、なかなか新しいサービスを提供できていませんでした。そんなあるとき、旅行会社には異業種の情報が集まることに気づきます。伊藤氏が間に入り、お客様同士をつなげると様々な商品や販売ルートが新たにできあがるのです。今では、MIC DELIGHT 株式会社を立ち上げ、イベント企画・運営をはじめ様々な提案を行い、女性限定のワヒネハーフマラソンの企画・運営に携わったり、押切もえちゃんの誕生日ギフト

として写真をそのまま本場ベルギーのチョコレートにする「ミディアム・ギフトボックス・マキシカード」という商品を提供したりしています。



最近では、産学連携の取

り組みから岐阜大学とゼロテン株式会社を設立し、天然ミネラルの触媒作用で表面をガードする人と地球環境にやさしいコーティング剤を開発し販売しています。



最高の旅行サービスを行うために、お客様と互いに信頼できるパートナーの関係づくりへ、伊藤氏の人と人をつなぐビジネスはこれからも広がりを見せていくことになると感じました。

事務局 金澤

日経MJ (1月25日号)
に商品紹介がされました。

《事務局の窓から》

第30回定時総会議案書も最終校正に入りました。毎年ですが表紙の色で悩んでしまいます。純粋に私の個人的な観点からですが色を選ぶとき、まずは過去の議案書を数冊並べてここ数年扱ったことのない色を選びます。その数色の中からテーマに沿った色を次に選びます。そして最後は三重同友会が元気になる色、躍動感あふれる色をと思い決定します。まもなく皆様のお手元に届きます。そんな事務局の思いを込めた議案書を27日の定時総会にはお持ちいただきお越しくさせていただきますようお願いいたします。

(黒)



業務適性診断テスト

業務適性診断テストは、求職者の外面に現れる性格と内面の性格を見るものです。検査結果からはどのような仕事に向いているかがわかり、特に採用時に面接だけではわかりにくい点を判断する材料として最適です。

●検査料 1人 1,400円(用紙、検査料)
(共同求人研究会参加者は、1,000円)

知的能力診断テスト

知的能力診断テストでは検査の結果から言語理解力や推理力、表現力といった事がわかります。求職者の持っている能力や資質を判断するのに最適です。

●検査料 1人 1,200円(用紙、検査料)
(共同求人研究会参加者は、800円)

◎詳しくは、同友会事務局までお問い合わせください。 TEL 059(351)3310

《同友コラム》

「社長の商品価値」

(株)佐野鉄工 佐野 明郎

春のこの時期、新しい世界に飛び込む新入学生・新入社員が、真新しい制服に身を包み、緊張でコチコチに固まった姿は、本当に微笑ましく可愛いものですよね。弊社も今年は男女一人ずつの新入社員が入社してきます。会社に毎年新しい社員が入社する事は、社内に新しい風が吹く事なので、私は本当に良い事だと感謝しています。これから数ヶ月もすると、社員教育を終えた新入社員の飛び込み営業が各社で始まるのでしょうか？

ちょっと前に、大変ショックでしたが、変に納得出来る話を聞く機会がありました。しつこい営業マンを断る方法に、「商品は良いし、話も良く分かった。しかし君の会社の社長が嫌いだから、買わないよ！」と言うのがあるそうです。こう言われた営業マンは、次に返す言葉が出ないそうです。そして、社内での営業訪問の報告も、さすがに社長が嫌いだからとは言えないそうですよ。背筋が寒くなる話ですが、

あるかもしれない納得出来る話でしょ？我々中小企業の商品には、「社長自身の態度・行動」という商品価値がいかに限りなく含まれているかが身に染みた怖い話でした。

社長は、社員にとって象徴であり鏡ですよ。自分自身も社長になった時、新しい事業に情熱を掛けた時を思い出します。社員全員からおみこしを担いでもらえる社長になるために、熱い気持ちで同友会に入会しました。

でも入会しただけで、自分に都合の良い理由を付けて出席をしないでは何も変わらない。例会・グループ会への参加。そして一つの真似からで良いので、実行する事。動かないと何も変わらない。

私の座右の銘は。「流水不腐」です。絶えず新しい事に挑戦する気持ちと行動がすべてを変えたいと思っています。仲間に認められ、社員の幸せを第一に考えられる素晴らしい組織を作りたいものです。

第1回支部長・幹事長会議まとめ

1. 平成24年度活動方針とテーマ確認

一昨年(2012年)の6月に中小企業憲章が閣議決定されたことはこれまで全国各地の同友会が取り組んできた活動の成果であるとともに、政府を含め各所から同友会という組織が認められてきたことである。しかしそれに頼る事無くそれぞれの企業が自立した経営をしていく事が求められる。また、経営環境が激変する中、中小企業家同友会全国協議会を含め各地の同友会では、会員数を増やすために取り組みを行っているが、特に理事・幹事の企業が地元から注目される企業であれば、自然に会員は増えることとなる。次年度の活動について、災害や円高などの影響からこの1年で様々な変化が起きているが、大局的な視点からその本質を分析し変化の根本にある問題点を捉え、企業変革を行わなければならない。それには、イノベーションがキーワードとなる。しかし中小企業ではなかなかボトムアップ型の変革は難しく、経営者自らが変わり企業変革を起こしていく必要がある。つまり、経営者自らの行動力が求められることとなる。そして自らの地域で仕事を作りだし、地域から当てにされる企業づくりをしていかなければならない。これらを踏まえ、「企業の明日を自らの手で切り拓こう！」～変化の起動力は経営者の行動力～をテーマに次年度活動に取り組んで行く事を確認しました。

2. 各支部の活動状況と次年度方針・課題

各支部の23年度活動状況と次年度の活動予定について意見交換がありました。現在各支部ともに例会への参加数が少なく出席率の向上が課題となっている。例会を担当する幹事が人を引き付ける例会を作っていかなければならない。桑名支部、北勢支部、中勢支部はグループに分かれ、様々な活動を行っているが、支部ごとに温度差はあり、参加が多く活発に行われている支部もあれば、新たな活動を作っている段階の支部もある。

3. 会員増強について

伝統的に数を追うような無理な増強はせず、参加する企業、特に理事・幹事の企業が成長を続けることで、自発的に入会を増やしてきました。しかし、ただ単に自発的な入会を待つだけでは会員数も減少するだけであり、意識的に入会を進めていく事も必要となる。組織率に関しては、それぞれの市町村で会員数が0名の市町村を無くす事と、組織率5%を目標に各支部で目標を定めて会員増強を進めていく事を申し合わせました。



《新会員のご紹介(敬称略)》

おおた まり
太田 真理 (株) フレンド
桑名市額田22-1
代表取締役
業種 派遣業
桑名支部 紹介者: 杉本香織



《会員情報変更(敬称略)》

にし まさとし
西 正敏 社会福祉法人あいプロジェクト
北勢支部(企業名)
もり だいすけ
森 大介 (株) 三重木型製作所
〒512-1205
四日市市平尾町2370番地15
TEL 059(325)3237
FAX 059(326)9575
北勢支部(住所・TEL・FAX)
(24. 2. 24~24. 3. 21)



第2回新旧合同理事会まとめ

(1) 平成23年度第12回理事会のまとめ

1、各種報告事項

- ①第42回中小企業問題全国研究集会の報告
服部代表理事・西村副代表理事・門井理事より口頭にて報告されました。福島の状況については、沿岸部や原発周辺地域と全研会場との活況さに大きな格差が感じられたが、復興に向けて歩み出している福島の元気さや同友会の連帯・結束力の強さを改めて感じる事ができた。
- ②北海道同友会釧路支部連携事業発足交流会の報告(略)
- ③5S担当者研修セミナーの報告(略)

2、委員会の報告

1) 総務委員会

水谷委員長より以下の報告提案があり、審議の結果承認されました。

- ・定時総会への来賓招待者リストを確認し、新たにマスコミ関係者11名を追加することを承認しました。
- ・24年度理事幹事研修会については下記の日程で行うことを確認しました。

■日時：平成24年6月15日(金)
14:00～19:30

■会場：四日市農協会館

- ・30周年記念事業積立金として今年度予算より科目を創設し、積み立てていくことを申し合わせました。

2) 企業リスク研究委員会

『リスクマネジメントから始まる会社の構造改革セミナー』

講師 伊藤 隆氏 伊藤会計事務所

日時 4月19日(木)

18:00～21:00

参加費 2,000円

3) SW2EETみえ

藤岡事務局主任よりNPO法人SW2EETみえの解散について報告され、承認されました。

4) 海外販路開拓グループ

上海に展示場を作る活動を中止するにあ

たり、業務実績報告書の作成が完了し、決算報告と合わせて3月末に県庁への提出をもって活動を終了することを確認しました。

また海外販路開拓グループとしての活動も展示場開設事業終了と合わせて、3月31日をもって終了することとしました。

3、入退会者及び会員変更の承認・前回理事会以降の活動報告について(略)

(2) 第2回理事予定者会議のまとめ

1、総会準備状況の確認

- ・24年度理事の選考結果・相談役の人選・理事の役割分担を確認し、総会に提案する事を申し合わせました。
- ・北勢支部にて事前のグループ長研修を4月17日(火)に行なうことを確認しました。

2、平成24年度の活動の基本的な方向について

平成24年度活動の基本的な方向については、服部代表理事より正副代表理事会議の報告と合わせて報告されました。

次年度は、改めて同友会の3つの目的にある「良い会社」について再確認し、いま“利益”と“雇用”を出し続けるという文言が追加されている意味を考えていく、また従来までの環境から大きく変化している中で、企業存続のあり方を見直し、企業変革を進める中で変えてはいけないもの、変えなくてはならないものを掘り下げて考えていくことを確認しました。そして何よりもその変革の元となるのが、経営者自身の行動力であることを認識し、活動づくりに取り組んでいくことを申し合わせました。



